

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響

ロータリーは新型コロナウイルスに関する現状とロータリー業務に及ぼす影響について[最新情報はこちらから](#)。

【国際大会の中止について】

新型コロナウイルス(COVID-19)による脅威が続いていることを受け、この度、2020年6月6～10日に開催予定だったロータリー国際大会が中止となりましたことをお知らせいたします。

今年度に大会を開催できないのは誠に残念ですが、出席者や関係者の皆さまの健康を守るために必要な決定であることをご理解いただければ幸いです。

現時点では、皆さまの登録、チケット、ホテル予約のキャンセルについてRI登録業務部に問い合わせの連絡をしないようお願いいたします。全出席者の皆さまに必要な情報をお伝えできるよう、現在準備を行っております。

詳細は[こちら](#)

国際大会の中止に伴い、特別行事(世界でよいことをしよう:ロータリー財団ドナーサミット、ロータリー財団年次祝賀舞踏会、ライトアップ・ホノルル夕食会)も中止となります。

【新型コロナウイルス流行下でロータリーに参加し続ける方法】

新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができない、という方も多いでしょう。ロータリーボイスに、オンラインを通じてさまざまな方法でロータリーに参加し続ける方法を紹介する記事が掲載されました。詳細は[こちら](#)

補助金

【新型コロナウイルス対応のための補助金の使用について】

新型コロナウイルス対応のための補助金の使用、ロータリー災害救援基金でCOVID-19対応を指定してDDFを寄贈できることなどについては、3月26日に地区財団委員長、地区補助金委員長へ送られたメールをご参照ください。

【補助金管理セミナー】

対面式の研修の代わりに、ラーニングセンターにあるオンラインコースを利用することもできます。また、[オンライン会議ツールの活用](#)も選択肢の一つです。セッションの主題やウェビナー/オンラインコースに関するヒントは、「[補助金管理セミナー指導者用手引き](#)」をご覧ください。

なお、グローバル補助金に参加するクラブは、参加資格認定が必須ですが、地区補助金のみを申請するクラブについては地区の裁量となります。

【補助金による旅行】

ロータリーでは現在、プログラムの全参加者の健康と安全を確保するため、新型コロナウイルス(COVID-19)のモニタリングを行っています。パンデミック(世界的大流行)における状況が刻一刻と変わるため、ロータリー財団は、モニタリングを継続しつつ、3月と4月に予定されていた補助金による全旅行をキャンセルいたします。

RIレポートは、My ROTARYから随時ご確認いただけます。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2020年3月26日現在
アメリカ	\$ 158,620,037
韓国	\$ 15,267,033
日本	\$ 14,568,313

日本の状況

冠名基金数 198

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

AKS会員数 47

PHS会員数 965

目標(世界)

- 全体:4億ドル
- 年次基金:1億4,000万ドル
- ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団とのマッチング分含む)
- 恒久基金:7,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- その他基金:3,500万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)

目標(日本)

- 年次基金:一人当たり150ドル
- ポリオプラス:一人当たり30ドル
- 恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- 大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- 各地区がDDFを使い切る
- グローバル補助金・地区補助金の活用の推進
- ロータリー平和フェローシップの推進

もし貴地区にて、その期間に予定されている旅行を含む地区補助金またはグローバル補助金を提唱されている場合、補助金による旅行を延期し、その変更を地域別補助金担当職員にご連絡いただけますようお願いいたします。

国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限」](#)や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

「[Travel Ban List \(旅行禁止国・地域のリスト\)](#)」は随時更新されます。

【奨学生について】

以下の内容について3月19日、20日、27日にロータリー奨学生へメールが送られています。奨学生と連絡をとり、状況の確認をお願いいたします。

国境を閉鎖する国が増える中、3月19日、米国国務省が渡航勧告の警戒レベルを「4」としました。この勧告は米国市民に向けたものですが、当方では、ほかの国も同様の勧告を発令していると認識しています。この理由により、すべての奨学生に対し、即刻母国に帰国することを強くお勧めします。現在、2年間のプログラムの1年目である人もいでしょう。留学国での滞在を選ぶ場合、外国から出国できなくなった場合にロータリー財団が追加の資金援助をすることはできないことをご了承ください。このことを念頭に慎重に計画を立ててください。

ロータリー財団は、3月と4月に予定されていた補助金によるすべての旅行をキャンセルしました。ただし、奨学生は、この禁止に対する唯一の例外となります。奨学生は、大学から帰国を求められた場合、またはあなた自身が帰国を決めた場合、帰国のために旅行資金を使うことができます。

大学があなたの専攻プログラムをオンラインで行うことを決めた場合、そのようなオンライン講義を受講し、奨学金に含まれている生活費を自国または海外で使っていたいて構いません。(留意事項:この費用はあなたの自国での課税対象となる可能性があり、また課税について調べ、納税する責任はあなた自身にあります。)

海外に留まるグローバル補助金奨学生は、レベル「2」とされた国への旅行、またはこれらの国を通過する旅行を計画している場合、慎重に行動することが必要となります。現在コロナウイルスの感染が広がっている国にいる奨学生は、受入大学および国の保健当局による勧告に従うことをお勧めします。

【奨学金に関するよくある質問】

● 報告期限は延長されますか？

報告期限に変更はありません。帰国や授業の延期等で完了が遅くなる場合は、中間報告を期限内にご提出ください。

● 渡航制限が解除されれば再度渡航して就学を継続できますか？

はい、可能です。再渡航や予算の変更は、両提唱者に確認の上、事前に補助金担当職員にご連絡ください。なお、補助金の増額はできませんので、その範囲内でご対応いただくことになります。

● 次年度の申請はどうすべきですか？

現時点で、申請書の提出締め切り6月30日に変更はありませんので手続きは進めておくようになります。渡航制限が解除されるまで承認はされませんので、実際に渡航できるかどうかはその時の状況次第となります。候補者には柔軟な対応ができるようにご案内ください。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)
[ロータリーのプライバシーの方針](#)
[EU 一般データ保護規則 \(GDPR\) について](#)

<資料>

[財務報告](#)
[年次報告\(オンライン版\)](#)
[携帯用カード](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引\(zip\)](#)
[寄付・認証 ロータリークラブの手引き ウェビナー「クラブのためのよくわかる寄付と認証」\(ppt\)](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- 寄付者履歴レポート
- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート (CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート (MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など

レポートの閲覧方法は[ロータリークラブの手引きp.31](#)をご参照ください。

【地区補助金 プロジェクト変更に伴う報告方法について】

地区補助金のプロジェクトの変更について掲載した先月号に引き続き、報告方法についてご紹介いたします。

地区補助金は、提出時のガバナー、地区財団委員長(DRFC)、地区補助金委員長のうちどなたか一名がMy ROTARY「[補助金センター](#)」よりオンラインで報告書を提出します。各プロジェクトへの配分額や、追加のプロジェクト、残った未配分額などを入力するだけのシンプルな手続きになっています。

三名とも作成中の報告書を編集、閲覧できますが、どなたか一名が「提出」ボタンをクリックすることで提出することができます。ただし、提出前に必ず地区内にて報告内容の確認をお願いいたします。報告書が提出され受理されると、担当職員よりメールにて通知が来ます。

手続きの詳細はこちら「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.32

● 増額した場合

プロジェクトが中止となり残ってしまった資金を、すでにロータリー財団から承認を得られている他のプロジェクトへ追加配分することが可能です。この場合、報告書の「実際の配分額」欄で、増額した分も上乗せした最終的な配分額を入力します。

● プロジェクトを中止した場合

プロジェクトが中止となり、そのプロジェクトに全く地区補助金を使っていない場合「実際の配分額」欄には「0」と入力します。プロジェクトが中止になっても準備費やキャンセル料等に一部地区補助金を利用している場合は、その分の金額を入力します。

● 新しいプロジェクトを実施した場合

報告書は申請書のとおりに表示されるため、年度中に新しく計画・実施したプロジェクトは表示されません。「活動を追加」ボタンからプロジェクト内容を入力し、配分額も入力してください。

新しいプロジェクトを実施する場合、実施に先立ちロータリー財団から承認を得る必要があります。事前にプロジェクト内容、経費項目など詳細情報を添えて、地区から下記担当職員へご連絡ください。

第一地域担当職員 セシリア・ウォルター

Cecelia.Walter@rotary.org

第二・三地域担当職員 スティーヴン・サンドストロム

Steven.Sundstrom@rotary.org

● 未使用の資金がある場合

使い切ることができなかった資金は、報告書の最下部の返還する資金額を入力する欄に、その金額を入力します。

返金の前に！

次年度の申請準備が遅れている地区もあるかと思えます。例えば、7月初めに行うプロジェクトや、2020年の7月に留学を開始する奨学生を、2019-20年度の地区補助金のプロジェクトとして授与することもできます。また、延期したプロジェクトはそのまま2019-20年度のプロジェクトとして実施することもできます。

返金は銀行振り込みにて、専用の口座へご送金いただくこととなります。専用の振込先口座情報と送金明細書をお送りしますので、必ず日本事務局財団室(RIJPNTRF@rotary.org)までご連絡ください。

リソース

＜資料＞

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS パンフレット](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

[END POLIO NOW](#)

[2019-20 年度 ロータリー賞](#)

＜DDF の寄贈＞

● [DDF のオプション](#)

● [レポートの開き方](#)

● [DDF オンライン寄贈フォーム](#)

＜感謝状＞

ポリオプラスへ 1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

COVID-19に関連したプロジェクトで、お急ぎの場合はご相談ください。



いかなる金額であれ、地区補助金と関係のない経費に未使用の補助金資金を使用することはできません。資金を使用できない場合、ロータリー財団に返還しなければならず、この資金は地区のDDFに加算されます。(参考:「[ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)」の「報告要件と書類の保管」)

● **よくある質問**

→「**報告書が受理されないと、次年度の地区補助金は申請できないですか?**」

いいえ、報告書が受理される前(前年度の地区補助金が完了する前)に次年度の地区補助金を申請することは可能です。ただし、実際にロータリー財団から地区へ資金が支払われるのは年度が変わってからであり、この時点で前年度の地区補助金が完了していない場合は、完了するまで支払われません。

→「**地区内の一部のプロジェクトが完了しておらず、報告書を書くことができません。どうすればいいですか?**」

地区補助金プロジェクトの完了と個別プロジェクトの完了は異なります。地区が「補助金センター」から提出する地区補助金の報告書は、各プロジェクトへ資金配分が終わった時点で作成・提出することができます。

ただし、各プロジェクトの現況を把握しておき、完了したらかならず報告書や領収書などを地区でも確認・保管しましょう。もし返金の必要があれば、そのときにロータリー財団へ報告・追加返金できます。個別プロジェクトは、ロータリー財団から補助金が支払われてから24か月以内に完了します。

→「**返金したら次年度の地区補助金になりますか?**」

返金分はDDFに返還されますが、次年度の地区補助金の申請上限額が増加することはありません。

地区/クラブ	活動の種類	活動の実施地	配分予定額 (米ドル)	実際の配分額 (米ドル)	
1.	臨時費		1216	0	
2.	管理運営費		81	0	
3.	教育 (一般)	硬式少年野球チーム育成のための助成	Japan (日本)	1852	1852

←実際のレポート画面
画面右に「実際の配分額」欄があり、金額を入力します。

17. 金管理セミナー開催のための会場費 Japan (日本) 694 0

使用計画の合計額: 40548 38557

ロータリー財団へ返還する未使用の補助金金額を入力してください:
米ドル

私は、地区ロータリー財団委員会を代表し、地区補助金の資金が「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」に従って使用されたことを証します。

送信

保存して閉じる メッセージ 保存

←レポート画面の最下部には、新しいプロジェクトを追加するための「活動を追加」ボタンや、返金額を入力する箇所があります。

2020-21年度 目標

【RRFCからのお知らせ 日本の財団目標について】

2020-21 年度ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)

第一地域 羽部 大仁 habu@honganji.or.jp

第二地域 服部 良男 ceo@hattori.org

第三地域 田村 泰三 tamurath@chive.ocn.ne.jp

我々財団日本チームは、分かり易く、使いやすい「みんなのロータリー財団」を目指し、補助金プロジェクトをサポートし、そして補助金への参加と補助金を活用して地域社会に変化を生む活動の推進へのお手伝いをします。

さて、ラビンドランロータリー財団管理委員長エレクトは国際協議会の講演で「財団は、ロータリー会員の財産であり、財団は人々の人生を変えるのです」と述べられています。ロータリアンみんなの財団なのですから、その存在価値が問われているのです。会員一人一人が関心を持って「世界で良いことをしよう」として始められた「みんなのロータリー財団」に更なるご支援（ファンドレイジング）と新しい補助金プロジェクトへの挑戦をお願いいたします。財団日本チームへのお問い合わせ、ご相談をお待ちしております。

そして日本のロータリアンが結束して年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成しましょう。

昨年度の実績を踏まえて話し合った結果、次年度の日本の目標を次の通りといたします。

■ 年次基金	<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり150ドル(日本全体約1,350万ドル) ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する
■ ポリオプラス基金	<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり30ドル(日本全体約270万ドル)
■ 恒久基金	<ul style="list-style-type: none"> ・冠名基金を各地区1件以上設立
■ 大口寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本全体で100件 ・AKSを日本全体で10名増やす 中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す
■ DDFの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈 DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。 ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈 「日本ロータリー平和センター基金 (E11659)」の累計が、150万ドルに達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。 ・各地区がDDFを使い切る
■ 補助金活動	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進 ・ロータリー平和フェローシップの推進

【ロータリー財団の目標】

優先事項は、新しいロータリー行動計画に沿うもので、より大きなインパクトをもたらすためにロータリー財団が行うべきのことにつながっています。

第一の優先事項はもちろん、ポリオ根絶です。第二の優先事項は、2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。この年度の総合的な寄付目標は、前年の目標よりわずか1,000万ドル多い4億1,000万ドルです。第三の優先事項は、補助金の測定可能なインパクトを高めることです。

[K.R. ラビンドランロータリー財団管理委員長エレクト](#)
「2020-21 年度ロータリー財団の目標」より

世界の寄付目標内訳	
年次基金	1億3,500万ドル
ポリオプラス基金	1億5,000万ドル (ゲイツ財団とのマッチング分含む)
恒久基金	8,500万ドル (2025年までに20億2,500万ドル)
その他基金	4,000万ドル (グローバル補助金への現金拠出等)
全体	4億1,000万ドル

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

年次基金はロータリーの今日の活動を支える基金です。
今年度も年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数 2020年3月26日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	11	2620	16	2740	12
2510	18	2630	3	2750	9
2520	15	2640	16	2760	2
2530	17	2650	0	2770	6
2540	16	2660	5	2780	2
2550	7	2670	10	2790	3
2560	0	2680	2	2800	2
2570	0	2690	5	2820	0
2580	0	2700	10	2830	4
2590	1	2710	5	2840	7
2600	4	2720	17	合計	266
2610	19	2730	22		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。 ※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。
 <<My ROTARY→運営する→各種レポート→クラブ/地区のレポート→寄付&認証→レポートを見る→月次寄付レポート>>

新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送に遅延が出る可能性があります。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



ポリオプラス

【ポリオ担当チームが新型コロナウイルスへの対応を支援】

ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。各国のポリオ根絶担当チームは、このインフラを新型コロナウイルス(COVID-19)への対応に活用することで、感染リスクにさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。パキスタンやナイジェリアといった国では、何十年ものポリオ根絶活動の経験が、政府による新型コロナウイルス対策の支援に役立てられています。

記事の続きは[こちら](#)

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)
[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)
[補助金による旅行](#)
[グローバル補助金ガイド](#)
[地域社会調査の結果フォーム](#)
[地域調査の方法](#)
[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)
[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[アイデア応援サイト](#)
[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)
[ロータリーショーケース](#)
[プロジェクトフェア](#)
[補助金担当職員一覧](#)
[重点分野の担当職員](#)
[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)
[補助金センターのご利用ガイド](#)
[グローバル補助金申請のテンプレート](#)
[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)
[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)
[ロータリー平和フェローシップ](#)
[ロータリーの学友](#)
[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)
[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

【ポリオ根絶の支援のため、世界のロータリーリーダーがパキスタンを訪問】

国際ロータリーの代表団がパキスタンを訪れ、イムラン・カーン首相、ザファル・ミルザ保健相、カマル・ジャバド・バジュワ陸軍参謀長、パキスタン・ポリオ全国緊急運営センター長のラナ・サフダル博士をはじめとする政府リーダーと会合しました。記事の続きは[こちら](#)

＜視聴覚資料＞

- [ウェビナー\(オンライン研修\)](#)
- [My ROTARY 写真&動画](#)
- [Rotary Video\(日本語\)](#)
- [ロータリーの動画\(vimeo\)](#)
- [重点分野の動画\(YouTube\)](#)

【野生株によるポリオ症例数】

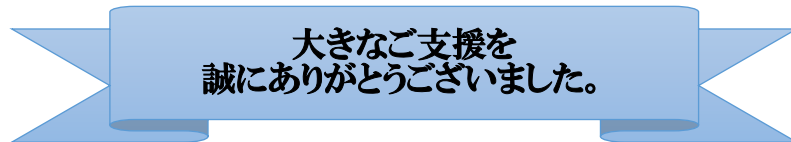
掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2020年 1月1日～ 3月18日	2019	2018	2017
常在国	パキスタン	33	144	12	8
	アフガニスタン	2	29	21	14
	ナイジェリア	0	0	0	0
世界合計		35	173	33	22

今後の予定

延期予定	ブラック・タイ・パーティー(札幌)
5月31日	ロータリー平和フェロー候補者が地区へ申請書を提出する締め切り
6月30日	グローバル補助金奨学金申請書の提出締め切り(8～10月中に出発する留学)
7月1日	ロータリー平和フェロー地区が推薦書式を提出する締め切り

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2020年2月8日～3月13日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2640	和歌山	檜畑 直尚	2630	伊勢	東谷 喬伸
計 2 名					

オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RLJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

【アイデア応援サイト】

ロータリーアイデア応援サイトは2020年7月1日をもって終了いたします。掲載プロジェクトへの支援は、2020年6月30日まで行うことができます。この日を過ぎてから支援を行いたい場合には、プロジェクト掲載者に直接ご連絡ください。ご質問がございましたら、RotarySupportCenter@rotary.org までご連絡ください。

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2019-20年度 2月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	年次基金 地区目標	一人当り 年次 基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額
2500	2,244	20,002.95	72.02	161,604.33	29,848.35	103,851.87		295,304.55
2510	2,569	63,385.18	104.39	268,174.90	34,510.52	6,777.78		309,463.20
2520	2,182	36,700.00	59.55	129,932.44	24,119.50	27,348.47		181,400.41
2530	2,288	83,477.28	69.47	158,954.96	15,764.44	34,472.45		209,191.85
2540	1,105	42,755.99	52.10	57,573.55	6,506.92	60.00		64,140.47
2550	1,725	8,750.00	124.16	214,170.14	39,935.02	136,683.56	5,731.07	396,519.79
2560	2,046	65,847.03	122.13	249,871.13	34,321.39	6,148.15	11,445.00	301,785.67
2570	1,613	131,914.74	107.21	172,922.63	52,501.99	89,234.17	2,310.00	316,968.79
2580	2,988	87,050.00	150.39	449,365.81	75,184.85	181,151.30	6,300.04	712,002.00
2590	1,996	259,311.00	147.29	293,984.91	50,802.92	65,636.36	2,100.00	412,524.19
2600	1,945	206,454.42	135.18	262,923.03	49,716.42	32,029.70		344,669.15
2610	2,617	216,209.00	81.24	212,616.52	18,070.17	7,018.52	6,300.00	244,005.21
2620	2,939	217,141.89	110.97	326,131.90	58,450.83	58,441.45	3,675.00	446,699.18
2630	3,192	401,729.90	111.27	355,167.16	51,655.57	36,000.00	13,628.99	456,451.72
2640	1,806	39,877.70	85.50	154,410.12	7,935.75	31,000.00	1,050.00	194,395.87
2650	4,552	37,980.00	152.67	694,936.59	113,568.00	113,227.82	9,450.00	931,182.41
2660	3,574	273,318.80	149.09	532,847.15	399,199.93	59,402.73	13,125.93	1,004,575.74
2670	3,002	19,000.00	78.68	236,185.26	43,084.25	11,471.70	1,550.00	292,291.21
2680	2,750	194,887.04	96.04	264,106.14	47,558.71	367,716.14	10,500.00	689,880.99
2690	3,017	198,729.19	124.16	374,580.92	79,341.15	84,000.01		537,922.08
2700	3,141	97,509.37	59.59	187,187.01	23,815.75			211,002.76
2710	3,289	254,939.67	110.63	363,847.92	84,744.09	83,619.33		532,211.34
2720	2,423	13,807.75	71.17	172,452.31	36,715.20	6,865.93	4,830.00	220,863.44
2730	2,412	69,697.20	58.44	140,966.27	24,717.28	3,048.87		168,732.42
2740	2,192	154,983.58	52.58	115,253.57	10,516.88	5,300.00		131,070.45
2750	4,746	355,735.27	170.31	808,300.47	127,103.11	101,193.20	28,140.93	1,064,737.71
2760	4,815	300,483.13	138.14	665,147.11	126,388.40	360,655.25		1,152,190.76
2770	2,517	231,449.44	163.30	411,034.17	137,343.64	104,856.19	3,150.00	656,384.00
2780	2,370	174,428.24	140.80	333,688.98	80,831.92	23,872.86	10,500.00	448,893.76
2790	2,782	159,865.10	112.97	314,273.15	45,617.78	90,345.37	4,200.00	454,436.30
2800	1,567	6,563.30	83.74	131,225.70	1,918.45	1,000.00		134,144.15
2820	1,955	249,098.04	145.69	284,816.46	48,882.19	39,494.34		373,192.99
2830	1,155	128,867.06	111.58	128,873.27	16,109.20	6,247.22		151,229.69
2840	2,099	137,399.25	114.74	240,847.79	40,895.14	19,727.89		301,470.82
日本	87,613	4,939,348.51	112.64	9,868,373.77	2,037,675.71	2,297,898.63	137,986.96	14,341,935.07
世界	1,189,466	64,711,918.09	65.12	77,458,812.44	20,591,478.24	27,962,529.32	16,737,344.16	142,750,164.16
日本の割合	7.37%	7.63%	-	12.74%	9.90%	8.22%	0.82%	10.05%